地域密着通所介護事業所「ソラノイロ芝公園」

運営推進会議・感染症対策委員会・高齢者虐待防止委員会の同時開催

開催日時	2026 年 9 月 28 日　13：00～
場所	ソラノイロ芝公園
参加者	ご利用者様：細〇様、ご家族：細〇様（娘様)、地域住民代表：高〇様（芝地区民生委員)、地域包括支援センター高〇様、当該サービスに係る専門識者：田〇様（柔道整復師)、川〇（看護師)、ソラノイロ芝公園：上〇一〇、坂〇希
議題	① 日常業務のご説明　※10 つの特徴をご覧ください。 ② ご利用者について（ご年齢、男女比、平均介護度）　※別紙① ③ 職員体制　※別紙② ④ 活動内容　※別紙③ ⑤ 事故やヒヤリハットおよび今後の改善策　※別紙④ ⑥ 防災・避難・通報・初期消火訓練　※別紙⑤ ⑦ 地域との連携　※別紙⑥ ⑧ 感染症対策の強化委員会　※別紙⑦ ⑨ 高齢者虐待防止の推進委員会　※別紙⑧

別紙①　ご利用者について

現在のご利用者数	50 名　※これまでの全ご利用者数は 138 名
平均年齢	84.9 歳
平均介護度	要介護 1.86
男女比	男性 14 名（28%）女性 36 名（72%）

	性別	要介護度	年齢	男性	女性
1	女	要介護１	87		1
2	女	要介護１	93		1
3	女	要介護３	79		1
4	男	要介護１	82	1	
5	男	要介護２	80	1	
6	女	要介護２	73		1
7	男	要介護２	88	1	
8	女	要支援１	87		1
9	女	要介護２	82		1
10	女	要介護１	87		1
11	女	要介護４	79		1
12	女	要介護１	86		1
13	女	要介護３	94		1
14	女	要介護１	90		1
15	女	要介護３	89		1
16	女	要介護２	89		1
17	女	要支援１	85		1
18	女	要介護２	92		1
19	女	要介護４	78		1
20	男	要介護３	89	1	
21	女	要介護２	89		1
22	女	要介護３	77		1
23	女	要介護１	94		1
24	男	要介護２	69	1	
25	男	要介護５	86	1	
26	男	要介護３	64	1	
27	女	要介護１	75		1
28	女	要介護１	84		1
29	男	要介護２	85	1	
30	女	要介護１	84		1
31	女	要介護１	88		1
32	女	要介護２	87		1
33	男	要介護１	82	1	
34	女	要介護４	96		1
35	女	要介護２	77		1
36	女	要介護１	91		1
37	女	要介護３	92		1
38	女	要介護２	94		1
39	女	要支援２	79		1
40	男	要介護２	92	1	
41	男	要介護１	81	1	
42	男	要支援１	88	1	
43	男	要介護２	82	1	
44	女	要介護２	96		1
45	女	要介護２	88		1
46	女	要介護１	81		1
47	女	要介護３	95		1
48	女	要介護１	83		1
49	男	要介護３	68	1	
50	女	要介護１	89		1

別紙②スタッフの体制

	男性	女性	合計
社員	3	2	5
アルバイト	0	9	9
合計	3	11	14

別紙③　活動内容

九品仏 	増上寺 
機能訓練体操 	ボランティアの方の演奏会 
創作活動 	麻雀 
創作活動 	モルック 

別紙④　事故やヒヤリハットおよび今後の改善策

（事故）

内容	改善策
朝、到着をし、靴を履き替える椅子に座る際に転倒。見守りが不十分で転倒に対する対応が取れていなかった	常に転倒があり得る、いつ転んでもいいように配慮する
夕方バタバタしている時のご利用者の離設。夜の警察による連絡まで発見が遅れた。	出入口ふきんの見守り体制強化、職員の声掛け強化
麻雀へ移動する際の転倒	転倒されるという前提での見守りの強化
帰りの送迎時に雨が降っていた。車から降りてもらい、歩行器をセットして、動かないでくださいね、と声をかけ、車にある傘を取るために一瞬目を離した際に自分で歩行を始め、転倒した	一瞬でも目を離さない介護を行う

（ヒヤリハット）

内容	改善策
車種によって安全な乗降方法があるがその共有が出来てなく、不安定な乗降になった	車種によって安全な乗降方法があるので、それを共有する。
フロアにスタッフが不在になり、歩行の不安定な人が立ち上がって動こうとした	フロアの見回りが途切れないようにスタッフがきを付ける
朝泥酔状態で車に乗車しようとひて座り込んでしまった	酔いが酷い場合は車いすを要する
玄関のスロープで膝折れする利用者がいた	歩幅の狭い利用者にはスロープになっていることを伝える
ご自宅にお送りした後、鍵がないということでソラノイロに徒歩で戻って来られた利用者がいた	鍵を自分で管理している方には、ご自宅に着いたときに鍵の有無を確認する

別紙⑤　防災・避難・通報・初期消火訓練

＜実施日＞

2026 年 9 月 22 日（火曜日）

＜参加者＞

スタッフ 5 名（坂本、萩原、上浦、福邉、渡邊、高岡）

利用者 17 名（橋口、江原、久保田、大胡、北久保、金子、立川、藤川、後藤、天野、荒川、小松、有本、井上、猪田、林、中前）

＜内容＞

１）火災や災害に備えることの大切さについて（坂本より）

・火事や地震は、いつどこで起こるか分からない

・デイサービスにいる時間に起こる可能性もある

・普段から「もしもの時」を考えておくことが大切である

２）火災や事故が起こった際に取る行動を確認（坂本より）

・何かあった時は、まず職員の声掛けや案内をよく聞く

・一人で動かず、職員の案内を聞き、職員と一緒に行動する

・走らない、押さない、あわてない

・荷物や上着などを取りに戻らず、まず安全を優先する

・火や煙の発見時は自分で対応しようとせず、職員に通報

・避難が必要な時は、職員が順番に案内するので落ち着く

・通報や消火は職員が実施。安全確保を第一にしてほしい

以上

別紙⑥　地域との連携

港区の社会福祉協議会内のボランティア担当の部署他からボランティアを募集

・麻雀



・創作活動補助

・お話相手

別紙⑦

感染症対策の強化委員会

開催日時：　2026 年 9 月 28 日　13：00～

場所：　ソラノイロ芝公園

参加者：　ご利用者様：細〇様、ご家族：細〇様（娘様)、地域住民代表：高〇様（芝地区民生委員)、地域包括支援センター高〇様、当該サービスに係る専門識者：田〇様（柔道整復師)、川上（看護師)、ソラノイロ芝公園：上〇一〇、坂〇希

以下はデイサービス「ソラノイロ」での感染症対策の実施内容である。

1）最近の感染症発生状況の確認

今期におけるインフルエンザおよびコロナの感染はご利用者、職員共になし

2）手洗い・手指消毒・マスクの実施状況確認

手洗い・手指消毒：通所開始時（到着時)、トイレ利用時、昼食およびおやつ前（アルコール消毒）に実施している

マスク：職員は全員着用、ご利用者は極力着用している（認知症などで外される方以外）

3）送迎・食事・入浴・排泄介助時の感染対策

送迎時の体調確認、食事前の手指消毒とテーブル消毒、入浴時の共用部清掃、排泄介助時の手袋着用と介助後の手洗いを実施している

4）嘔吐・下痢・発熱者が出たときの対応手順の確認

体調不良時は静養できる場所へ案内し、ご家族へ連絡の上、お迎えや受診を依頼している。症状に応じて利用中止や送迎見合わせ、緊急搬送を判断し、汚染箇所がある場合は処理・消毒を実施している

5）物品の在庫確認

手袋、マスク、消毒液、ペーパータオル等の在庫状況の確認を継続して実施している

6）清掃・消毒方法の確認

テーブル、トイレ、浴室、送迎車、共有物品などの共有部分は日常的に清掃し、必要時や汚染時にはその都度消毒を実施している

7）職員への指導

感染対策の周知は継続して実施しており、嘔吐物処理や感染症発生時対応についても、必要時に手順確認を行っている。

以上

別紙⑧

高齢者虐待防止の推進委員会

開催日時：　2026 年 9 月 28 日　13：00～

場所：　ソラノイロ芝公園

参加者：　ご利用者様：細〇様、ご家族：細〇様（娘様)、地域住民代表：高〇様（芝地区民生委員)、地域包括支援センター高〇様、当該サービスに係る専門識者：田〇様（柔道整復師)、川上（看護師)、ソラノイロ芝公園：上〇一〇、坂〇希

以下はデイサービスでの高齢者虐待防止に関する実施内容である。

１）虐待の発生状況の確認

今期において、ご利用者に対する虐待事案は確認されていない。今後も虐待の未然防止と早期発見に努める。

２）言葉遣い・対応方法の確認

ご利用者に対して威圧的な口調や命令口調にならないよう注意し、尊厳を守った丁寧な対応を心掛けている。

３）身体介助時の対応確認

移乗、排泄、入浴等の介助時には、ご利用者の身体状況や気持ちに配慮し、無理な介助や乱暴な対応を行わないよう確認している。

４）必要なケアの実施確認

水分補給、排泄介助、見守り等、必要なケアを適切に実施し、職員都合で後回しにしないよう努めている。

５）金銭・所持品等の取扱い確認

ご利用者の金銭や所持品については、所持いただかないというルールに沿って適切に対応している。

６）不適切ケアの防止

虐待にあたる行為だけでなく、不適切な声掛けや配慮に欠ける対応がないかについても確認し、気になる点があれば職員間で共有している。

７）相談・報告体制の確認

虐待や不適切ケアが疑われる場合は、速やかに管理者へ報告し、一人で抱え込まないことを再確認している。

８）指導

虐待防止に関する周知と指導は継続して実施しています。

以上

◆意見交換

川〇様（看護師）

インフルエンザが流行しているため、引き続き手洗い・消毒・マスク着用など、基本的な感染症対策をしっかり行ってほしい。また、最近は雨の日が続き、外出の機会が減って自宅で過ごす時間が長くなっている方も多い。気分がすぐれなかったり、心身ともに不安定になっている方も増えている印象があるため、デイサービスで人と交流したり、身体を動かしたりする機会を大切にしてほしい。

細〇様（ご家族代表）

母は他のデイサービスにも通っているが、ソラノイロには本当に救われたと感じている。通い始める前の2年ほどは、食事も十分に取れず、自宅に引きこもるような生活が続いていた。ソラノイロに通うようになってから、人と接する機会が増え、表情も明るくなり、以前の母を取り戻したように感じている。母自身もソラノイロが大好きで、家族としても大変感謝している。

田〇様（柔道整復師）

私は特別養護老人ホームや病院でも仕事をしているが、そうした場所では介護度が高く、活動性が低下している方も多く見られる。一方、ソラノイロのような在宅サービスは、ご本人ができるだけ長く自宅で生活を続けられるよう支えるという点で、非常に大きな社会的意義があると思う。特に独居の方にとって、安心して人と関わることのできる居場所は重要であり、ここで楽しく過ごしてもらうことが在宅生活の継続にもつながると思う。